

コロナ感染予防対応！

WEB受講
可能！

【入門講座】 幾何公差方式の全容が理解できる ISO規格に対応した幾何公差の使い方と表し方

◆日時：2022年8月4日(木) 13:00～16:30

◆受講料：(消費税等込) 1名:38,500円

◆会場：TH企画セミナールームA ※会場/WEB 選択可
(東京・JR田町駅下車 徒歩約6分)

同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:33,000円

現在の機械製図規則の概要、サイズ公差の基礎知識、幾何公差の基礎知識幾何公差に関する最新ISO規格について、豊富な経験に基づき詳しく解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

今までの日本の機械図面では、もはや海外(特に欧米)では通用しません。その最大の理由は、「部品形状の表し方」にあります。今までの図面では、部品のあるべき「形状」について、「寸法」と「寸法公差」を用いた様々な指示によって表現してきました。

しかし、いまや従来の「寸法」は、「サイズ」と「距離」とに大きく分けられ、「サイズ」に関しては「サイズ公差」で、「距離」に関しては「幾何公差」を使って、図面で明確に指示しなければなりません。今後は、主に「幾何公差を用いた機械図面」になることは必至ですが、その基になるISO規格もここ数年、多くが改定されています。しかし、残念なことに現在のJIS規格はこれにほとんど対応できていません。

そこで、このセミナーの初級者向けでは、日本の設計者の多くが抱えている疑問、「なぜいま幾何公差を用いた機械図面にしなければならないのか」に丁寧に答えながら、「幾何公差」の重要性をしっかりと理解してもらい、それを用いるための基礎事項を習得してもらいます。

【受講形式】 会場・WEB

【受講対象】 ・機械図面を作成する設計者 ・機械図面を見て製造、検査に携わる技術者 ・社内での機械製図規則作成・制定に携わる技術者

【予備知識】 「機械製図規則」全般 JIS B 0001:2019「機械製図」

【習得知識】 1) 現在の「機械製図規則」の概要 2) 「サイズ公差」についての基礎知識
3) 「幾何公差」についての基礎知識 4) 「幾何公差」に関する最新ISO規格

【進呈】 *講師著書 「サイズ公差」と「幾何公差」を用いた機械図面の表し方(日刊工業新聞社)を受講者に無料配布させていただきます。



◆プログラム◆

【講師】 想図研 代表 小池 忠男 先生

MSTC計測技術検討委員会委員・元 リコー(株)

1. 幾何公差の基礎知識

- 1.1 幾何公差を用いる意義 1.2 幾何公差の種類
1.3 用語と定義、記号と意味 1.4 データムの理解と指示方法

2. 幾何公差の指示方法とその解釈

- 2.1 形状公差(真直度、平面度、真円度、円筒度)の指示方法と解釈
2.2 姿勢公差(平行度、垂直度、傾斜度)の指示方法と解釈

2.3 位置公差(位置度、同心度、同軸度、対称度)の指示方法と解釈

2.4 輪郭度(線の輪郭度、面の輪郭度)の指示方法と解釈

2.5 振れ公差(円周振れ、全振れ)の指示方法と解釈

3. 演習問題

質疑・応答

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
振込み手数料は御社の御負担にて願います。

●申込先  (株)TH企画セミナーセンター

〒108-0014 東京都港区芝4-5-11-5F

TEL:03-6435-1138 FAX:03-6435-3685

E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0804 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>

●申込書・2022年8月4日(木)「【入門講座】幾何公差方式の全容が理解できるISO規格に対応した幾何公差の使い方と表し方」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振込み予定		通信欄